

評価の実際の例 高等学校家庭科「思考・判断・表現」

* 単元名「成年として自立した経済生活を営むには」(家庭基礎)

[家庭基礎レポート(パフォーマンス課題)]

内容のまとめ

- C 持続可能な消費生活・環境
(1) 生活における経済の計画
(2) 消費行動と意思決定

【評価規準】

自立した消費生活を営むために、家計の管理や計画、適切な意思決定に基づいて行動することなどについての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。

参考 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
国立教育政策研究所

私は、高校時代に悪質商法や契約について学んだにもかかわらず、下のような消費者被害に引っかかってしまいました。後で冷静になって考えると避けられる方法はいくらでもあったのに、今になって後悔しています。今後どのように行動したらよいか、5月の時点として考えてください。

消費者被害の内容

私は、18歳の大学生。友人から「投資で稼げるようになるビジネススクールがある。」と誘われ、興味をもち、カフェで代表者から入会条件や成功談を聞いた。

「契約時に10万円、月謝で2万円がかかるが、4人紹介すれば月謝は免除される。1人紹介すれば紹介料5万円を払うので元が取れる。」と言われた。“これならすぐに儲かる”と思い、指示されたとおりの書類に記入し、学生ローンに連れて行かれお金を借り、入会した。

何回かスクールに通ったが儲からず止めたくなった。しかし、代表者に伝えたら、「止めるなら解約金は5万円だ。」と言われた。

- ①この事例の問題点
- ②解決策・対応策(具体的にどうする?)
- ③どの場面でゆっくり考えたり、確かめたりする必要があったでしょうか。
また、断るための言い方を考えましょう。

「おおむね満足できる」状況(B)と「十分満足できる」状況(A)と判断した生徒の具体的な例

	「おおむね満足できる」状況(B)と判断した生徒の具体的な例	「十分満足できる」状況(A)と判断した生徒の具体的な例
①この事例の問題点	<p><u>指示されたとおりに書類に記入してしまった。学生ローンに連れて行かれ、お金を借りて入会した。友人からの誘いで油断している。</u></p>	<p>もう18歳になっているので、未成年者取消権で守られていない。しかし、友人の誘いに乗り、高収入につられてカフェに行ってしまった。安易に書類に記入し、ローンを組み借金までして入会してしまっている。4人紹介すれば月謝が免除され、一人紹介すれば紹介料がもらえて元が取れると言っているけれど、友人を誘うとこれからの人間関係を壊す恐れがある。楽に稼げるとかたくさん収入を稼げると言いながら、先に、10万円の支払いを要求している部分には、おかしさを感じる。メリットのみを聞かされているけれど、そんなにうまい話はないと思う。</p> <p>◎これまで学習してきた契約の重要性や消費者保護の仕組みなどに関する「知識・技能」を生かして、客観的・批判的に分析し、消費者被害の特徴を多面的・多角的に捉えている。</p>
②解決策・対応策(具体的にどうする、どこに相談するなど)	<p><u>おかしいと感じたら、すぐに返事をせずに、信頼できる大人(親や先生など)に相談したり、消費生活センターなどに相談したりする。</u></p> <p>◎身近な大人や消費生活センターへの相談を挙げている。</p>	<p>被害に遭ってしまっているなので、すぐに近くの消費者生活センターに行って、解約できないか相談する。自分が行動することで、同じような被害が広がることを防ぐことにつながるから、絶対に泣き寝入りしない。被害に遭う前に、知らされていないデメリットがないかどうか考えて、わからないことがある時は理解できるまで確認する。おかしいと感じたら、すぐに返事をせず、信頼できる大人(親や先生など)に相談したり、消費生活センターなどに相談して、ビジネススクールの情報や評判を確認したらよかった。</p> <p>◎様々な問題点と関連付けながら解決策・対応策を記している。</p>
③どの場面でゆっくり考えたり、確かめたりする必要があるでしょうか。また、断るための言い方を考えましょう。	<p><u>書類に記入する前に、本当に記入しても大丈夫なのかをよく考える。友人に誘われた時に、それは本当にあるのか、大丈夫なのかを確かめる必要があった。「そういうのは、危なそうだからやめておく。」と言う。</u></p> <p>◎具体的な場面を明示してどう行動すべきか、断るべきかを記している。 ◎事業者側の情報を過信することなく、批判的思考に裏付けて意思決定できている。</p>	<p>友人から誘われた時、「怪しいから、やめておく。」「ちょっと考えさせて」とか、「投資はよくわからないし、ややこしそうだからやめておく。ごめんね。」と、私はしないということをはっきりと伝えて断る。</p> <p>◎断るための言い方を具体的に考察し、根拠や理由を明確にして筋道を立てて述べたりしている。</p> <p>参考 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 国立教育政策研究所</p>